

管内報道機関との定例懇談会（1月）

日時：令和4年1月7日（金）10時30分

場所：久慈地区合同庁舎6階大会議室

次 第

- 1 開会
- 2 資料説明
- 3 懇談
- 4 閉会

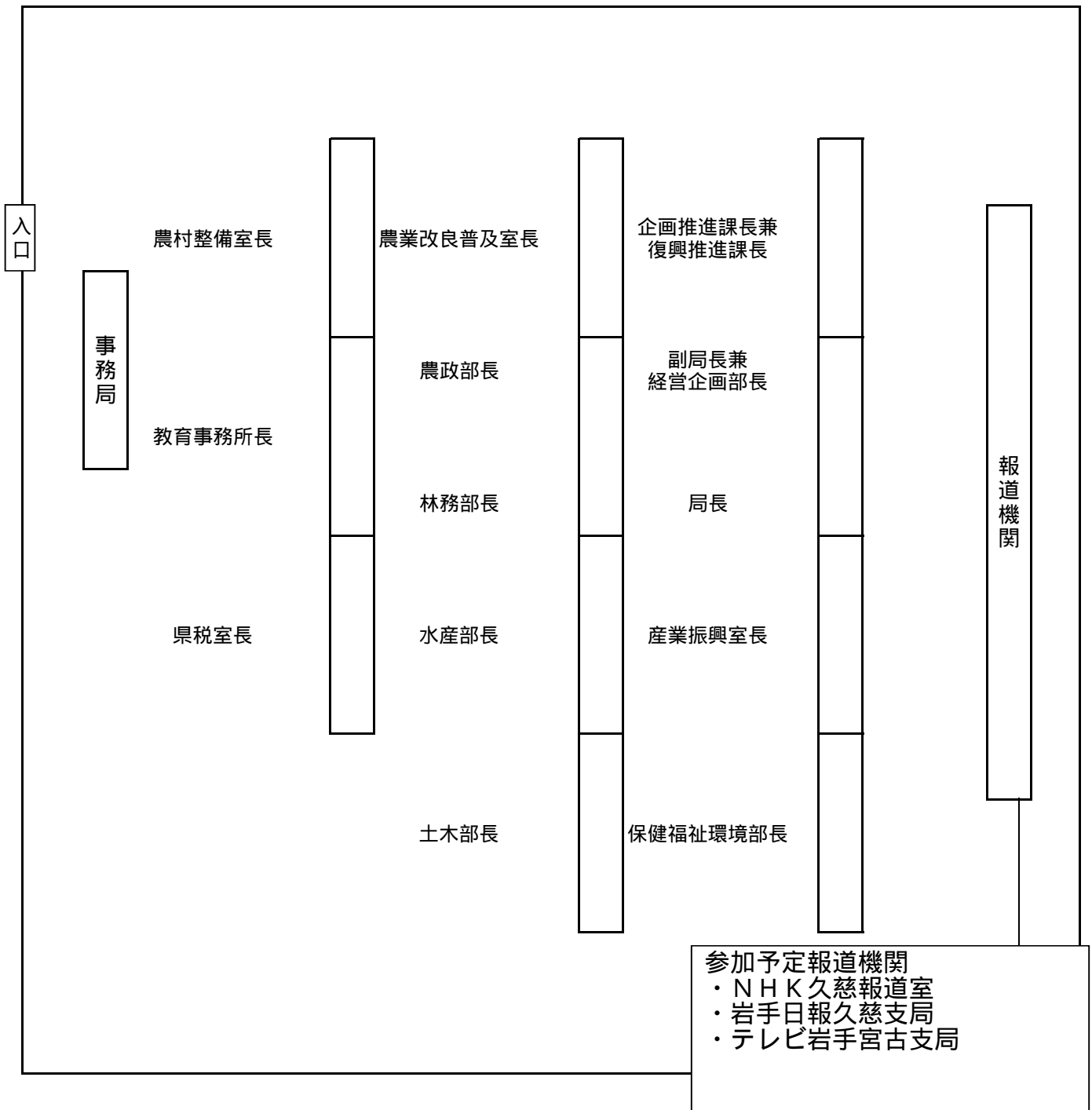
（進行：県北広域振興局長）

次回の開催予定

日時：令和4年2月3日（木）10時30分

場所：久慈地区合同庁舎6階大会議室

座席表



管内報道機関との定例懇談会（1月）説明項目

	項目	担当部	ポイント
1	北いわてアパレル・ものづくりセミナーの開催について	産業振興室	県北地域の主要産業の一つであるアパレル産業を中心に、地域産業の抱える取引減少、人材不足といった課題解決に向けたセミナーを開催することといたしましたので、お知らせします。
2	高校生を対象とした業種理解セミナーの実施について	産業振興室	久慈管内の高等学校2学年に在籍する生徒を対象として、オンライン形式のセミナーを開催しますので、お知らせします。
3	令和3年度「水生生物調査」実施団体知事感謝状の贈呈について	保健福祉 環境部	水生生物調査を10年以上実施し、長年に渡り県内の環境保全意識の高揚に貢献したと認められる団体に対して、平成20年度から知事感謝状を贈呈しており、この度、久慈市立宇部小学校に感謝状が贈呈されることとなりましたのでお知らせします。
4	令和3年度いわて農林水産振興協議会会長表彰等の受賞について	農政部 林務部 水産部	令和3年12月24日に開催された「令和3年度いわて農林水産躍進大会」において、県北広域振興局管内から、「岩手県農林水産業表彰」を1名、「いわて農林水産振興協議会会長表彰」を4経営体と1団体が受賞しましたのでお知らせします。
5	魅力ある農村づくり研修会の開催について	農政部	魅力的な中山間地域の実現に向けた取組を推進するため、集落ぐるみの地域活性化に取り組んでいる集落・団体等を対象に、研修会を開催しますので、お知らせします。
6	全国サンマッシュ生産協議会第36回全国大会（岩手県大会）の開催について	農政部	全国サンマッシュ生産協議会が、2月1日～2日に久慈市を会場に、全国の会員（生産者）が一堂に会する第36回全国大会（岩手県大会）を開催しますので、お知らせします。
7	木炭生産力向上研修会の開催について	林務部	日本一の木炭生産量を誇る本県において、岩手県製炭技士を講師に若手木炭生産者の技術力及び生産量の向上を図ることを目的とした研修会を今回初めて開催しますので、お知らせします。

8	【復興支援道路】一般国道 281 号下川井工区の開通式を開催します！	土 木 部	令和4年2月5日(土) 県の「復興支援道路」として整備を進めてきた一般国道 281 号下川井工区の開通式を開催しますのでお知らせします。
9	県立高等技術専門校生対象の「自動車整備業界ガイダンス」開催について	二 戸 高 等 技 術 専 門 校	二戸、千厩、宮古の県立高等技術専門校3校は、1月25日(火)に盛岡市で「自動車整備業界ガイダンス」を合同開催しますので、お知らせします。
10	令和4年度入校生2次募集の実施について	二 戸 高 等 技 術 専 門 校	未来の匠を育てる県立二戸高等技術専門校では、自動車システム科(定員20名)及び建築科(定員15名)の令和4年度入校生の2次募集を行いますので、お知らせします。

【その他配付資料】

月間行事予定表(令和4年1月~2月上旬)

- いわて三陸の今を学ぶ冬の味覚三昧ツアーについて

説明項目 1	北いわてアパレル・ものづくりセミナーの開催について (経営企画部産業振興室)
--------	---

岩手県県北広域振興局及び公益財団法人いわて産業振興センターでは、県北地域の主要産業の一つであるアパレル産業を中心に、生産性向上やIoT導入事例などの先進的な取組を学び、地域産業の抱える取引減少、人材不足といった課題解決に向けたセミナーを開催することといたしましたので、取材いただきますようお願いいたします。

- 1 日 時 令和4年1月21日(金) 14:30~17:00(受付 14:00~)
- 2 場 所 久慈グランドホテル、オンライン(Zoom)
- 3 対象者 県内縫製業者、縫製業界関連事業者、県北管内ものづくり事業者、商工団体等支援機関
- 4 定 員 会場 30名、オンライン 20名(先着順)
- 5 主 催 岩手県県北広域振興局、公益財団法人いわて産業振興センター
- 6 共 催 一般社団法人北いわてアパレル産業振興会、
県北ものづくり産業ネットワーク

7 次 第

挨拶

県北広域振興局長

(一社)北いわてアパレル産業振興会 代表理事

先進事例発表

○テーマ アパレルIoT導入の事例紹介について(仮)

講 師 岩手アパレル(株) 萩野 幸弘 氏

○テーマ カイゼン活動の取組と今後の展開について(仮)

講 師 トヨタ自動車東日本(株) TPS推進部 異業種研鑽グループ

(カイゼン、ものづくり相互研鑽活動の概要について)

ミドリ久慈衣料(株) 川代 利幸 氏

(令和2年度ものづくり相互研鑽活動の活動及び現在の取組について)

情報提供

8 その他

コロナウイルス感染症対策のため、参加の際はマスクの着用、受付時の検温及び手指消毒にご協力をお願いいたします。また、適宜換気を行いますので、暖かい服装でお越しください。

【担当】経営企画部産業振興室

室長 酒井 淳

電話：0194-66-9671 FAX：0194-53-1720

(公財)いわて産業振興センター 産業支援部

主事 柴田 亮

電話：019-631-3824 FAX：019-631-3830

北いわてアパレル・ものづくりセミナー

先進事例に学ぶ

IoT導入・カイゼン

オンライン同時開催!

日時

令和4年

1月21日(金) 14:30~17:00 (受付14:00~)

場所

久慈グランドホテル

〒028-0051 岩手県久慈市川崎町10-15

◆ 講演 (14:45~16:45)

参加無料
会場定員30名
オンライン20名

事例発表①

講師 岩手アパレル株式会社 代表取締役 萩野 幸弘 氏

テーマ 「アパレルIoT導入の事例紹介について(仮題)」

事例発表②

講師 ミドリ久慈衣料株式会社 取締役社長 川代利幸 氏

トヨタ自動車東日本株式会社 TPS推進部 異業種研鑽グループ

テーマ 「カイゼン活動の取組と今後の展開について(仮題)」

◆ 情報提供 (16:45~17:00)

地域未来投資促進法や経営革新に関する制度紹介、
県北ものづくり産業ネットワークの取組 など

主催：岩手県県北広域振興局

公益財団法人いわて産業振興センター

共催：一般社団法人北いわてアパレル産業振興会、

県北ものづくり産業ネットワーク

※参加のお申込みは裏面の申込書に記入のうえメールもしくは
FAXにてお申込みください。



◆アクセス

JR八戸線・三陸鉄道リアス線久慈駅より徒歩5分
三陸沿岸道路 久慈ICより車で5分

◆申し込み方法

下記の申込書にご記入のうえ、FAX 又は 電子メールでお申込みください。

◆申込期限

令和4年1月17日（月）※定員に達し次第終了

申込先	連絡先
岩手県県北広域振興局経営企画部 産業振興室 行（担当 豊田）	FAX：0194-53-1720 Mail：BK0001@pref.iwate.jp

北いわてアパレル・ものづくりセミナー申込書

【申込担当者】

企業（団体）名	
申込担当者	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス (オンライン参加希望の場合は招待URLが受取可能なアドレス)	

【セミナー参加者】 ※会場定員の関係上一社複数名での会場参加の場合は、人数調整いただく場合がありますので御了承ください。

1	所属・職名		氏名		参加形態	会場・オンライン
2	所属・職名		氏名		参加形態	会場・オンライン
3	所属・職名		氏名		参加形態	会場・オンライン

※コロナウイルス感染症対策のため、参加の際はマスクの着用と受付時の検温及び手指消毒にご協力をお願いいたします。また、適宜換気を行いますので、暖かい服装でお越しください。

※座席の間隔を確保するため、会場は100名収容可能ですが定員を30名とさせていただきます。

※ご記入いただいた個人情報については、適切に管理し、本事業の今後の運営のために使用させていただきます。

説明項目 2	高校生を対象とした業種理解セミナーの実施について (経営企画部産業振興室)
--------	--

県北広域振興局では、久慈管内の高等学校2学年に在籍する生徒を対象として、職業及び地元企業への理解を深める機会を設け、就職に向けた意識の喚起と管内高校生の地元就職率の向上を目指すことを目的に、オンライン形式の標記セミナーを開催しますので、取材いただきますようお願いいたします。

1 開催日

令和4年1月27日(木) 13:30～15:50 (久慈高校、久慈東高校、種市高校、大野高校)
28日(金) 13:00～15:20 (久慈工業高校)
2月2日(水) 9:00～11:25 (久慈拓陽支援学校)

2 会場

各学校

3 参加対象者

久慈管内の高等学校2学年に在籍する生徒

4 主催

県北広域振興局、久慈地域キャリア教育推進研究会

5 内容等

オンラインで学校と企業をつなぎ、学校ごとに地域の企業による業種説明を行います。
(詳細は実施要領をご参照ください。)

- ・ 業種説明(業種を代表する企業による業種の説明+企業の紹介)
1コマ20分(説明10～15分、質疑応答5～10分)×5コマ
- ・ web会議ツール「ZOOM」を使用し、オンライン形式での実施とする。
- ・ 参加高校、企業はそれぞれ学校、事務所から参加。
久慈工業高校、久慈拓陽支援学校は学校を会場とし、対面形式で開催する。

取材いただける場合は、28日(金)の久慈工業高校にて行っていただきますようお願いいたします。

担当：産業振興室長 酒井 電話：0194-66-9671 内線 315
--

高校生を対象とした業種理解セミナー実施要領

1 目的

令和5年4月管内高等学校卒業予定者（現2学年）を対象として、職業及び地元企業への理解を深める機会を設け、就職に向けた意識の喚起と管内高校生の地元就職率の向上を目指す。

2 参加対象者

久慈管内の高等学校2学年に在籍する生徒

3 開催日時

令和4年1月27日（木）13:30～15:50（久慈高校、久慈東高校、種市高校、大野高校）

28日（金）13:00～15:20（久慈工業高校）

2月2日（水）9:00～11:25（久慈拓陽支援学校）

1月27日（木）のみオンライン開催

4 会場

各学校

5 主催

岩手県北広域振興局、久慈地域キャリア教育推進研究会

6 内容

(1) 開会（オリエンテーション）

趣旨・スケジュール説明、業種・参加企業紹介、ジョブカフェ久慈から企業の個別説明を聞く際の注意点や求人状況など

(2) 業種説明（業種を代表する企業による業種の説明（メイン）+企業の紹介）

1コマ20分（説明10～15分、質疑応答5～10分）×5コマ

(3) タイムスケジュール

時間	時間	時間	内容
1月27日（木） 久慈高校、久慈東高校、種市高校、大野高校	1月28日（金） 久慈工業高校	2月2日（水） 久慈拓陽支援学校	
13:30	13:00	9:00	開会
13:30～13:45	13:00～13:15	9:00～9:15	趣旨・スケジュール説明（2分） 業種・参加企業紹介（9分） ジョブカフェ久慈から情報提供（3分）
13:45～13:50	13:15～13:20	9:20～9:25	セッティング
13:50～15:40	13:20～15:10	9:25～11:25	業種説明
13:50～14:10	13:20～13:40	9:25～9:45	（1回目）
14:10～14:30	13:40～14:00	9:45～10:05	（2回目）
14:30～14:40	14:00～14:10	10:05～10:15	休憩
14:40～15:00	14:10～14:30	10:15～10:35	（3回目）
15:00～15:20	14:30～14:50	10:35～10:55	（4回目）
15:20～15:40	14:50～15:10	10:55～11:15	（5回目）
15:50	15:20	11:25	閉会

7 実施方法

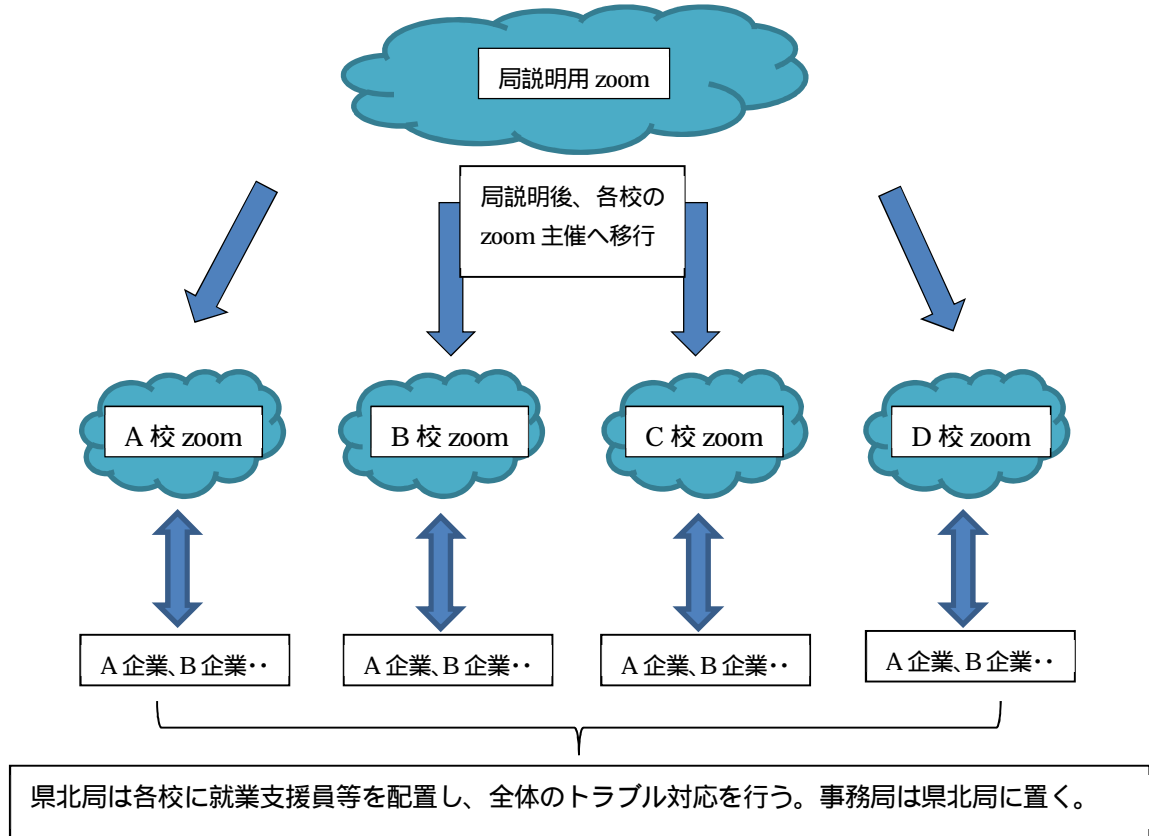
新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、web 会議ツール「ZOOM」を使用し、オンライン形式での実施とする。

事前にアプリをダウンロードし、後日送付する URL より参加

オンライン環境が整っていない学校や、対面形式での実施希望があった学校は、各学校を会場として対面形式で実施。

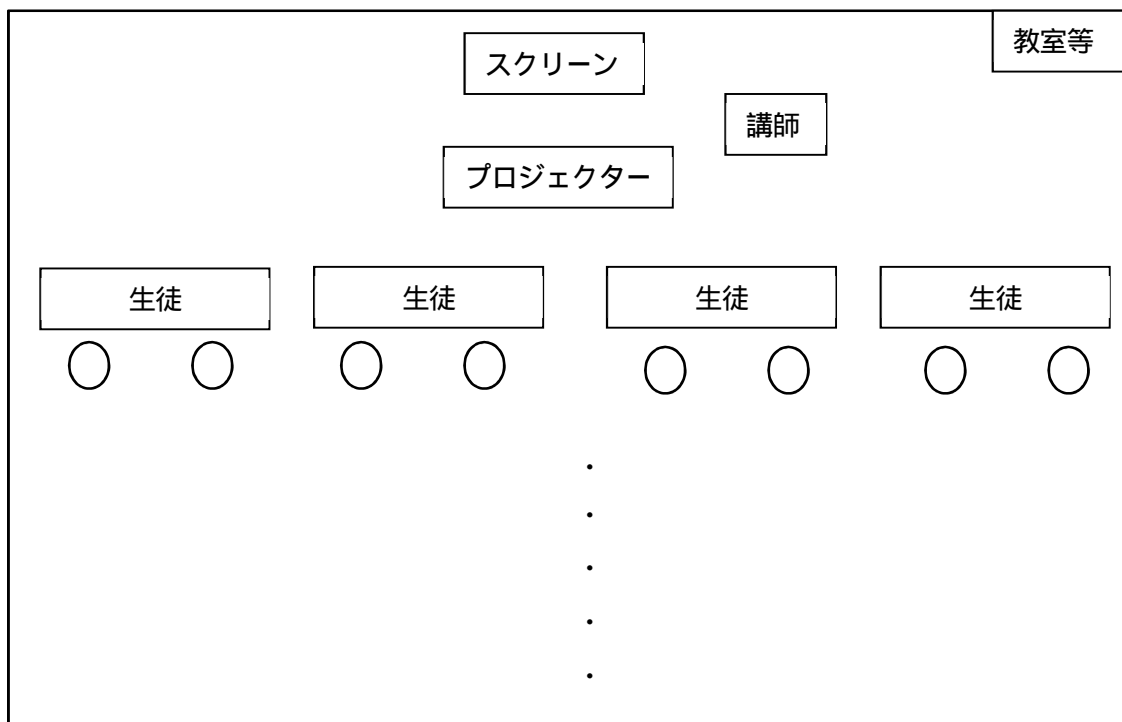
(1) 実施イメージ (オンライン形式)

各高校が zoom の主催をし、当日の司会等を各高校が担う。振興局は企業の調整、当日の枠組みの作成、全体のトラブル対応を行う。



(2) 実施イメージ (対面形式)

各高校で会場を確保していただき、講師企業も各高校へ赴き説明を行う。



(3) 企業選定(案)

括弧書き： R2 参加生徒数		会場	業種説明(講師企業)				
			(1回目)	(2回目)	(3回目)	(4回目)	(5回目)
1/27 (木)	久慈高 (-名)	学校 オンライン 開催	久慈市役所 (公務)	宮城建設㈱ (建設業)	㈱岩手村田製作所 (製造業(電子部品))	岩手県立久慈病院 (医療)	㈱十文字チキン カンパニー (製造業(畜産))
	久慈東 高 (127人)		宮城建設㈱ (建設業)	(有)タニムラフード サービス (製造業(畜産))	介護老人保健福祉施設 リハビリタウン久慈 (医療・福祉)	㈱ユニバース (卸、小売業)	㈱岩手村田製作所 (製造業(電子部品))
	種市高 (6名)		久慈市冷凍水産加工 協同組合 (製造業(水産))	㈱ユニバース (卸、小売業)	ケイセイエンジニアリ ング㈱ (製造業(電子部品))	ロイヤルパーク カワサキ (宿泊・飲食サービス 業)	
	大野高 (27名)		ロイヤルパーク カワサキ (宿泊・飲食サービス 業)	シャトータカマツ (製造業(菓子))	社会福祉法人みちのく 大寿会 (久慈平荘) (医療・福祉)	洋野町役場 (公務)	下館建設㈱ (建設業)
1/28 (金)	久慈工業 (31人)	学校 会場開催	㈱小山組 (土木工事業)	下館建設㈱ (建設業)	筑波重工㈱ (自動車部品業)	㈱ジュークス (製造業(電子部品))	一沢コンクリート 工業㈱ (製造業(コンクリート加工))
2/2 (水)	久慈拓陽 (6人)		㈱県北ファッション (製造業(繊維工業))	社会福祉法人 みちのく大寿会 (久慈平荘) (医療・福祉)	㈱薬王堂 (卸、小売業)	久慈市漁業協同組合 (製造業(水産))	㈱吉成食品 (製造業(畜産))

説明項目 3	令和3年度「水生生物調査」実施団体知事感謝状の贈呈について (保健福祉環境部)
--------	--

岩手県では、水生生物調査を10年以上実施し、長年に渡り県内の環境保全意識の高揚に貢献したと認められる団体に対して、平成20年度から知事感謝状を贈呈しています。

久慈市立宇部小学校は、児童たちによる水生生物調査()を平成2年に実施して以降、本年度で計19年実施し、調査を通じて児童の環境保全意識の高揚に貢献した団体であると認められましたので、知事から感謝状が贈呈されます。

贈呈式では、代表児童に対し県北広域振興局長から知事感謝状と副賞を授与しますので取材いただきますようお願いいたします。

1 日時

令和4年1月18日(火)9時15分からの始業式終了後に贈呈式を行います。

2 場所

久慈市立宇部小学校体育館(久慈市宇部町5-132-8)

水生生物調査とは、河川に棲む生物を観察することにより、身近な河川の水質の状況を認識するとともに、調査活動を通じて水質保全意識を涵養することを目的とする調査です。

岩手県では、本調査を通して、主に子どもたちの環境保全意識を高めることを目的としており、学校やエコクラブなど多くの団体が参加しています。

参考1 令和3年度は、同小学校の他、次の5団体に感謝状が贈呈されます。

- (1) ボーイスカウト盛岡第5団ビーバー隊
- (2) 八幡平市立田山小学校
- (3) 八幡平市立安代小学校
- (4) 雫石町立御明神小学校
- (5) 遠野市立遠野小学校

参考2 過去の管内受賞団体は以下のとおりです。

- (1) 普代村立普代小学校(平成20年度)
- (2) 久慈市立大川目小学校(平成22年度)
- (3) 久慈市立久慈小学校(平成29年度)
- (4) 洋野町立向田小学校(平成30年度)

担当：保健福祉環境部環境衛生課 千田
電話：0194-66-9681

説明項目 4	令和3年度いわて農林水産振興協議会会長表彰等の受賞について (農政部・林務部・水産部)
--------	--

令和3年12月24日(金)にサンセール盛岡(盛岡市)で開催された「令和3年度いわて農林水産躍進大会」において、県北広域振興局管内から、「岩手県農林水産業表彰」を1名、「いわて農林水産振興協議会会長表彰」を4経営体と1団体が受賞しましたのでお知らせいたします。

1 岩手県農林水産業表彰(岩手県知事表彰)

永年にわたり農林水産業に関する団体の運営や協同組織の育成又は農林水産業の技術の向上発展に尽力され顕著な功績があった方や、農林水産業及び農山漁村の振興に尽力し顕著な功績があった方を表彰

受賞者	市町村	概要
ふたまた ぶんお 貳又 文雄	野田村	平成11年から野田村農業委員、平成20年から令和2年まで会長として、農業委員会の運営に尽力。

2 いわて農林水産振興協議会会長表彰

本県農林水産業及び農山漁村の発展に先進的に取り組み、顕著な業績をあげた経営や、組織、集落等を表彰

区分	市町村	受賞経営体・団体	概要
明日を拓く担い手賞 (林業)	洋野町	はた まさき 畑 真樹	品質の高さが評価される木炭生産者。岩手木炭のPR活動を行う県内若手炭焼き職人の中で中心的役割。
意欲ある担い手賞 (農業)	久慈市	かわひら よしあき 川平 義明	地域でトップクラスの単収を誇るほうれんそう経営体。ほうれんそう産地の拡大や栽培技術指導に活躍。
意欲ある担い手賞 (林業)	九戸村	しちのへ ともひろ 七戸 智広	地域でトップレベルの売上を誇る木炭生産者。岩手木炭の地理的表示(GI)登録に寄与。
意欲ある担い手賞 (水産業)	野田村	あんどう まさき 安藤 正樹・ あんどう ともこ 安藤 智子	カゴ養殖による質の高いホタテ等の養殖業経営体。担い手育成や地域水産業の知名度向上、地域食材の流通拡大に貢献。
個性ある「産地づくり」賞 (農業)	一戸町	しん おく J A 新いわて奥 なかやまこうげんじー 中山高原 レタス すいしん 推進チーム	レタスでは県内初のグローバルGAP団体認証を取得した生産者グループ。販路や販売額を拡大し、産地の活性化に大きく貢献。

3 受賞者一覧(別紙のとおり)

担当：農政部農政調整課長 下斗米 真
電話：0194-53-4983 内線 219

令和3年度いわて農林水産躍進大会受賞者一覧

1 岩手県農林水産業表彰（岩手県知事表彰）

永年にわたり農林水産業に関する団体の運営や協同組織の育成又は農林水産業の技術の向上発展に尽力され顕著な功績があった方や、農林水産業及び農山漁村の振興に尽力し顕著な功績があった方を表彰

受賞者	市町村
新 沼 湧 一	大船渡市
高 橋 隆	矢巾町
式 又 文 雄	野田村
内 記 信 也	西和賀町
裊 岩 正 治	宮古市
佐 藤 由 也	大船渡市

2 いわて農林水産振興協議会会長表彰

本県農林水産業及び農山漁村の発展に先進的に取り組み、顕著な業績をあげた経営や組織、集落等を表彰

(1) 明日を拓く担い手賞

区分	受賞者	市町村
農業	百 濟 和 至	紫波町
	熊 谷 憲 幸	宮古市
	小 原 忍	花巻市
	千 葉 幸 弘	一関市
	株式会社五十嵐ファーム	奥州市
	株式会社 T Farm	奥州市
	兼 澤 悟	大槌町

区分	受賞者	市町村
林業	畑 真 樹	洋野町
水産業	熊谷 昌征・熊谷 典子	大船渡市

(2) 意欲ある担い手賞

区分	受賞者	市町村
農業	小 笠 原 晃	遠野市
	川 平 義 明	久慈市
	畠 山 信 吾	一関市
	藤田 貴良・藤田 麻奈美	八幡平市
	有 馬 富 博	西和賀町
林業	七 戸 智 広	九戸村
水産業	安藤 正樹・安藤 智子	野田村

(3) 個性ある「産地づくり」賞

区分	受賞者	市町村
農業	「たかたのゆめ」ブランド化研究会	陸前高田市
	J A新しいわて奥中山高原©. レタス推進チーム	一戸町

(4) 活力とうるおいにあふれた「むらづくり」賞

受賞者	市町村
豊 沢 川 漁 業 協 同 組 合	花巻市

3 いわて中山間賞

県内の中山間地域において、地域の個性を活かした活性化の取組を行い、成果をあげている集落等を表彰

受賞者	市町村
下有住地区	住田町
東稲集落	一関市
農事組合法人なべくら	花巻市

4 岩手県農地・水環境保全向上活動モデル賞

地域共同の力で農地や農業用水等の地域資源と農村環境を保全管理する活動の中から、県内の模範となる優れた取組を表彰

受賞者	市町村
上西根・八丁野環境保全の会	雫石町

5 岩手県アドプト活動モデル賞

農業水利施設管理者と地域・企業などが協定を締結し、協働で保全活動を行っている団体の中から、県内の模範となる優れた取組を表彰

受賞者	市町村
(実施団体) 南沢営農組合	一関市
(協定団体) 市野々土地改良区	
(実施団体) 金森環境保全会	金ヶ崎町
(協定団体) 岩手中部土地改良区	

6 いわて木材利用優良施設優秀賞

木材の良さや木材利用の意義を広く県民に普及させることにより、木材利用の一層の促進を図ることを目的として、県内における木材利用施設整備のうち、特に優秀な取組を表彰

受賞者	市町村
(対象施設) グランドセイコースタジオ雫石 (施 主) セイコーホールディングス株式会社 (設 計 者) 株式会社隈研吾建築都市設計事務所 株式会社大建設計 (施 工 者) 鹿島建設株式会社	雫石町
(対象施設) 住田町立上有住地区公民館 (施 主) 住田町 (設 計 者) パーシモン ヒルズ アーキテクツ (施 工 者) 株式会社佐賀組・有限会社坂井建設特定共同 企業体	住田町
(対象施設) 道の駅たのはた 思惟の風 (施 主) 田野畑村 (設 計 者) 有限会社ナスカ一級建築士事務所 (施 工 者) 日本住宅株式会社	田野畑村



ふたまた 文雄
ふみ お

平成 11 年から野田村農業委員会委員、平成 20 年から同委員会会長として、同委員会の運営に尽力した。

また、同委員会において、農地中間管理事業を活用し、地域の担い手へ農地の集積を積極的に進めたほか、耕作放棄地を他の担い手に貸し出す耕作放棄地の再生活動に尽力するなど、生産現場における農地利用の最適化を進め、本県農業の振興と発展に大きく貢献した。

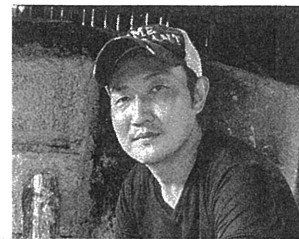


ないき 信也
しんや

昭和 62 年から沢内村農業委員会委員、平成 16 年から同委員会会長、平成 17 年から西和賀町農業委員会会長として、同委員会の運営に尽力した。

また、平成 17 年の町村合併の際、合併後の同委員会における組織体制や遊休農地等の把握方法の統一など、新体制の検討において指導力を発揮し、円滑な合併推進に尽力したほか、合併後は、西和賀町農業委員会の初代会長に就任し、本県農業の振興と発展に大きく貢献した。

はた まさき
畑 真樹（洋野町）



1 概要

- 平成22年8月に、久慈市で製炭を営む知人の紹介で北部産業㈱に入社し、炭焼職人としてのキャリアをスタート。
- 炭焼職人になったもう一つの理由は、祖父が所有している山林の木を何か有効活用できないかと考えていた結果、自然に製炭業に就きたいと考えるようになった。
- 入社後は、ベテラン製炭者のもとで一から作業を学び、「県木炭品評会」でも入賞を重ねられるようになった。
- 平成27年11月には、独立を視野に入れて自分の窯を1基立て、平成30年8月に北部産業を退職して完全に独立。令和元年7月に2基目の窯を整備し、現在に至る。

2 経営の概要

(1) 作目・規模

岩手大量窯2基、岩手木炭（黒炭）34t/年、木酢液16,800ℓ/年

(2) 経営における役割

経営全般

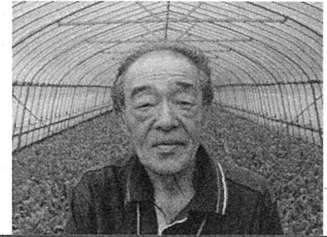
3 生産面・経営面の特徴

- 良い木炭の条件として、品評会などでは硬くて重い木炭が良いものというのが共通認識だが、消費者からすれば柔らかくて軽いものが喜ばれることもあるため、動向を注視しながらニーズに合わせた木炭生産ができるよう、技術研鑽に努めている。
- 令和2年度には、特に優れた技術を持つ生産者を県が認定する「岩手県製炭技士（通称：チャコールマイスター）」に認定されている。
- 岩手県木炭協会が主催する岩手県木炭品評会では、常に入賞するなど品質の高さが評価されている。

4 地域における役割

- 炭焼き職人が魅力ある仕事だということを発信していくことが大切と考えている。
- そのため、令和3年3月に県内の若手の炭焼き職人6人で「いわて炭研隊」を立ち上げ、地域の木炭生産者の仲間づくりや、岩手木炭の知名度を高めるための活動を開始した。
- 「いわて炭研隊」では副隊長を務め、現在、隊の活動を通じた炭焼きの体験ツアーや、岩手木炭のPR活動の取組の中で、その中心的な役割を担っており、将来的にも地域の木炭生産者を代表する人材として活躍が期待されている。

かわひら よしあき
川平 義明（久慈市）



1 概要

- 昭和53年から漁業を営んでいたが、平成14年に農業へ転身。近隣の耕作放棄地などを借りて農地を確保するとともに、久慈市の先進農家で栽培技術習得の研修を行うなど、営農の準備を進め、平成16年に25aのハウスでほうれんそう栽培を開始。
- 目標とする農業経営（経営規模 50a、販売額 1,500 万円）を実現するため、ハウスを増設し、現在は 41a まで規模を拡大し、は種機・調製機・包装機の導入により生産の効率化を進めている。

2 経営の概要

(1) 労働力

本人、妻

(2) 経営規模

雨よけほうれんそう 41a（4.3回転）

(3) 主な施設・機械

ビニールハウス（2aハウス 20棟、1aハウス 1棟）、真空播種機（2台）、トラクター（1台）、深耕ロータリー（1台）、簡易予冷庫（1台）、サブソイラー（1台）

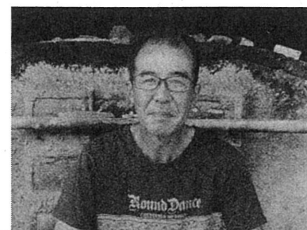
3 経営の特徴

- 耕作放棄地をほうれんそう栽培に適した耕地にするため、牛ふん堆肥を連年施用し、地力を高める土づくりを行っている。
- サブソイラーを活用し、透水性の良い土づくりを行い、適切な水管理を行うことで、根張り、株張りの良い丈夫なほうれんそうを生産しており、栽培が難しい夏場においても安定した収量を確保している。
- ほうれんそうの単収は、地域の1作当たりの平均 70kg/a に対して 100kg/a とトップクラスとなっている。

4 地域への貢献

- 高度な生産技術と経営感覚を持つ先導的生産者に対して J A 新いわてが委嘱している「J A 新いわて久慈地域産地リーディングサポーター」に平成 20 年に就任し、ほうれんそう産地の拡大や栽培技術指導に活躍しており、生産者からの信望も厚い。
- 令和元年に「J A 新いわて久慈地域野菜部会部会長」に就任し、ほうれんそう産地の復活に向け、産地のリーダーとして、ほ場見学会等の各種研修会を開催するなど、地域農業に大きく貢献している。

しちのへ ともひろ
七戸 智広（九戸村）



1 概要

- 昭和 59 年から九戸村で木炭生産に従事し、地域の高品質な木炭の生産・流通を支えており、木炭産業の発展と伝承に寄与している。
- 岩手県木炭品評会では、平成 13 年度に最優秀賞を受賞するなど、常に入賞を果たし、品質の高さが評価されている。
- 木炭生産技術や窯づくりの指導を行うなど、若手生産者の育成にも力を入れており、製炭者の育成と後継者の確保に大きく貢献している。

2 経営の概要

(1) 労働力

本人、妻、子、常雇 3 名

(2) 経営規模

製炭窯 5 基（18 尺窯）、しいたけ原木 110,000 本、木炭移出 150t

(3) 主な施設・機械

岩手大量窯 5 基、製炭作業場 2 棟、炭倉庫 5 棟、トラック 1 台、木割り機 2 台、炭切り機 2 台ほか

3 経営の特徴

- 品質の良い木炭を大量に生産する岩手大量窯を 5 基所有し、年間岩手切炭（黒炭）40 t、木酢液 20,000ℓを生産しており、地域でもトップレベルの売上を保持している。
- 原木の調達から製炭、加工、梱包、出荷、木炭移出までを一貫して行うことにより、効率的な生産システムを確立しており、消費者ニーズに応えた木炭を全国に出荷するなど、高品質な木炭の販売を行っている。
- 地域の木炭生産者への原木の安定供給に尽力しているほか、しいたけ原木の供給も実施し、地域の森林資源の利活用に貢献している。

4 地域への貢献

- 平成 27 年、岩手県北地域の木炭生産者で構成される「北いわて木炭産業振興協議会」の発足時から理事として、また、令和元年度からは副会長として、地域製炭業の振興に尽力しており、平成 30 年の岩手木炭の地理的表示（GI）登録に寄与している。
- 平成 30 年、（社）岩手県木炭協会が主催する木炭現地指導会等に積極的に協力し、若手生産者の製炭技術の向上に貢献していることや、特に優れた製炭技術が認められ、岩手県からチャコールマイスターとして認定されている。

あんどろ まさき あんどろ ともこ
安藤 正樹・安藤 智子（野田村）



1 概要

- 正樹氏は、平成 17 年に両親から組合員資格を承継し、カゴ養殖による質の高いホタテ等の養殖生産を行っている。
- また、ホタテの地域ブランド化を進める「あらうみだん荒海団」の活動等を通じ、地元ホタテの流通拡大、漁業担い手育成、地域の知名度向上などにも取り組んでいる。
- 智子氏もホタテ養殖業等に従事するのみならず、シェフとしての技能を生かした地域食材の流通拡大にも取り組んでいる。

2 経営の概要

- (1) 労働力
本人、妻、臨時雇用のべ 50 人
- (2) 経営規模
ホタテ養殖 延縄式 150m 35 台
カキ・ホヤ養殖 延縄式 150m 4 台
- (3) 主な施設・機械
FRP 漁船 2 隻、フォークリフト

3 経営の特徴

- ホタテの種苗は、ほぼ自家採苗でまかなっており、付着生物の入り込みのリスクを軽減し、安定的な生産につなげている。また、他産地への種苗供給も担っている。
- カゴ養殖によるホタテへのストレス軽減と成長に応じた枚数調整により、高品質なホタテ生産を行っている。
- ホヤやマガキシングルシードなど、新たな品目の養殖を開始し、震災以降はホヤの出荷を安定的に行うなど、経営の安定化を図っている。
- 養殖生産物の水揚げ・運搬作業を効率化する目的でフォークリフトを導入するとともに、智子氏も免許を取得し、養殖経営の機械化・効率化を図っている。

4 地域への貢献

- 正樹氏は、荒海団の中心的なメンバーとして、小中学生を対象とした体験学習活動を行っているほか、マスコミへの出演や県の交流大会での発表などを行い、漁業担い手育成や地域水産業の知名度向上にも貢献している。
- 智子氏は、レストランのシェフとしてイベントなどに出店するほか、三陸国際ガストロノミー会議への参画や、浜料理を通じた漁協女性部の交流会で講師を務めるなど、自らの技能を生かした地域食材の流通拡大にも貢献している。

JA新いわておくなかやまこうげんじー奥中山高原◎.レタス推進チーム（一戸町）



1 概要

- 奥中山高原◎.レタス推進チームは、平成31年2月に設立された生産者グループであり、安全で高品質なレタスの安定的な生産を理念に、奥中山のレタスのブランド化を図っている。
- 他産地との競争力を高めることや、データに基づく効率的な農業を行うため、JA等の支援を受け、令和元年11月にレタスでは県内初となるグローバルGAP団体認証を取得し、販路や販売額を拡大しており、産地の活性化に大きく貢献している。

2 組織の概要

- 平成31年2月に構成メンバー4戸でチームを設立し、グローバルGAP取得に向けた取組を開始し、令和元年11月にグローバルGAPの団体認証を取得した。
- 令和2年度のレタス生産規模は、取得前の28haから30haへと拡大しており、グローバルGAP認証の継続及び波及に取り組んでいる。

3 産地づくりの特徴

- 奥中山地域では、昭和38年頃から高標高地の夏季冷涼な気候を生かしたレタス栽培が盛んに行われており、平成25年にはJAが主体となり「カシオペア園芸産地づくりサポートセンター」を設置し、生産者育成に向けた生産技術指導や防除の徹底、気象変化に適應した品種導入のほか、地域の酪農家との耕畜連携による有機質肥料投入と土づくりなど、産地づくりの強化に取り組んでいる。
- 当該組織は、JAレタス生産部会員の中でも生産規模の大きい経営体で結成され、安全で高品質な奥中山のレタスのブランド化を図るべく、ICTを活用したデータに基づく農業を展開している。
- 令和元年度に県内初となるグローバルGAP団体認証を取得しており、取得後は取引先の大手量販店への安定供給が実現したほか、更に新たな大手飲食チェーン店からの引き合いもあり、令和2年度には、取得前の平成30年度と比較して、1,700万円程の販売額の増加につなげている。

4 地域への波及効果

- 当該組織は、グローバルGAPの取得後、継続的に審査を受けており、更なる安全・衛生の管理徹底や、ICTを活用した収量・品質の向上に取り組んでいる。
- 奥中山地域のJAレタス生産部会員に対し、研修会等を通して、グローバルGAPに係る取組内容や成果を周知することにより、産地全体の取組へと積極的に波及を図っている。

説明項目 5	魅力ある農村づくり研修会の開催について (農政部)
--------	----------------------------------

中山間地域は、食料の生産や、自然環境の維持、地域に根ざした伝統文化の継承などの多面的機能を有する重要な地域です。

魅力的な中山間地域の実現に向けた取組を推進するため、集落ぐるみの地域活性化に取り組んでいる集落・団体等を対象に、標記研修会を開催しますので、取材いただきますようお願いいたします。

1 日時

令和4年1月26日(水) 14:00~16:00

2 場所

- (1) 久慈会場 : 久慈地区合同庁舎 6階 大会議室
 (2) 二戸会場(web) : 二戸地区合同庁舎 2階 2-A会議室
 久慈会場と二戸会場はリモートで繋がります。

3 主催

県北広域振興局農政部

4 対象者

地域活性化に取り組む集落・団体、集落ぐるみの地域活性化の取組に興味のある方、市町村、関係機関

5 内容・日程

時間	内容
14:00 ~ 14:15	事例発表 「エゴマ栽培による地域活性化の取組について」 小久慈じゅうね研究会 代表理事 大井 正信 氏
14:15 ~ 15:45	講演・意見交換 「農村地域のコミュニティ再生について」 NPO 法人いわて地域づくり支援センター 常務理事 若菜 千穂 氏
15:45 ~ 16:00	情報提供

当日は、マスク着用のほか、会場入口での体温測定、席の間隔を十分にとる等、新型コロナウイルス感染症対策を行って開催します。

担当：農政部農政調整課 下斗米 電話：0194 - 53 - 4983 内線 219

魅力ある農村づくり研修会開催要領

1 目的

魅力的な中山間地域の実現に向けた取組を推進するため、集落ぐるみの地域活性化に取り組んでいる集落・団体等を対象に、研修会を開催します。

2 主催

県北広域振興局農政部

3 日時

令和4年1月26日(水) 14:00～16:00

4 場所

(1) 久慈会場

久慈地区合同庁舎 6階 大会議室(久慈市八日町1-1)

(2) 二戸会場(web)

二戸地区合同庁舎 2階 2-A会議室(二戸市石切所字荷渡6-3)

久慈会場と二戸会場はリモートで繋がります。

5 内容

(1) 事例発表

「エゴマ栽培による地域活性化の取組について」

発表者：小久慈じゅうね研究会 代表理事 大井 正信 氏

(2) 講演及び意見交換

演題「農村地域のコミュニティ再生について」

講師：NPO法人いわて地域づくり支援センター 常務理事 若菜 千穂 氏

(3) 情報提供

6 参集範囲

地域活性化に取り組む集落・団体、集落ぐるみの地域活性化の取組に興味のある方、市町村、関係機関

7 出席報告

久慈会場で参加する場合は県北広域振興局農政部へ、二戸会場で参加する場合は二戸農林振興センターへ、出席報告をお願いします。

8 その他

- ・ 新型コロナウイルス感染対策のため、マスクの着用をお願いします。
- ・ 会場入口で、アルコール手指消毒と体温測定を実施します。
- ・ 当日発熱がある場合は、研修会の参加を御遠慮願います。

説明項目 6	全国サンマッシュ生産協議会第 36 回全国大会（岩手県大会）の開催について (農政部)
--------	--

全国サンマッシュ生産協議会 が、2月1日～2日に久慈市を会場に、全国の会員（生産者）が一堂に会する第 36 回全国大会（岩手県大会）を開催しますので、お知らせします。

全国サンマッシュ生産協議会
きのこの種菌製造国内トップメーカー「株北研」の種菌を利用する菌床しいたけの生産者等が技術研鑽を目的に組織した団体。昭和 62 年に設立され会員数は約 1,800 名（岩手県は約 150 名）。

【全国サンマッシュ生産協議会第 36 回全国大会（岩手県大会）の概要】

- 1 日 時
令和 4 年 2 月 1 日（火）13：30～2日（水）12:00
- 2 会 場
久慈市文化会館アンバーホール、久慈グランドホテル 他
- 3 主 催
全国サンマッシュ生産協議会
- 4 参加者
約 500 名（予定）
- 5 内 容

日 時		内 容	場 所
2/1	13:30～14:10	開会式典	久慈市文化会館 アンバーホール
	14:10～14:50	通常総会	
	15:00～16:50	研修会	
	17:00～17:40	品評会	
	18:30～18:40	歓迎演奏 久慈高等学校	久慈グランドホテル
	18:40～19:00	品評会審査講評・結果発表	
	19:00～20:50	懇親会	
2/2	7:00～12:00	視察研修会	(有)越戸きのこ園 株大矢内きのこ園

担当：農政部農政調整課 下斗米
電話：0194 - 53 - 4983 内線 219



全国サンマッシュ生産協議会 第36回大会 (岩手大会)

全国大会案内



(有越戸きのこ園)



久慈市文化会館 アンバーホール



(株)大矢内きのこ園



サンマッシュくん



三陸鉄道株式会社



平庭闘牛大会

日時： 2022年2月1日(火)～2日(水)
会場： 久慈市文化会館 アンバーホール

第36回全国大会開催のご案内

謹啓 日頃は当協議会の運営にご尽力とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和3年も終わりを告げようとしておりますが、令和2年初春に国内で確認された新型コロナウイルスの影響により、第34回全国大会（三重大会）以降は協議会としてもおおよそ2年間活動の自粛や集合無しでの運営を行ってまいりました。現在は国民の新型コロナウイルスへの意識も変わり、新しい生活様式の浸透やワクチン接種も進み新規感染者数は減少傾向であります。

まだまだ予断を許さない状況にありますが、第36回全国大会は十分な感染防止策を講じて、厳しい難局を乗り切るため2年ぶりに集合での開催を行うことと致しました。

さて、生シイタケの市況はコロナ禍の影響も重なり厳しい状況が続いております。林野庁の統計によりますと、令和2年の生シイタケ国内生産量は70,280tと前年より791t減少しました。しかし、中国からのシイタケ（菌床）の輸入を見ますと平成26年には10,218tだったものが、令和2年には36,633t（前年比128%）と大幅に増加、生しいたけの生産量に換算すると約12,200tとなり、平成26年比で3.5倍を超えている状況です。今年9月までの累計輸入量は24,151tで前年比102%と昨年並みに推移しているものの、需要期に入った9月一ヶ月間では3,487t（前年比119%）と増加傾向にあります。この状況からすると国内シイタケ生産量の2割程度が中国産菌床によって生産されて〇〇県産シイタケとして流通していることとなり、消費者がそのことを知らずに購入していること、また、市況にも大きく影響を与えていることは誠に由々しき問題でございます。

私達は安全安心・美味しいシイタケを消費者の皆様へ提供しておりますが、国内シイタケ産業を守るためには、全国食用きのこ種菌協会が策定しました、輸入菌床から発生したシイタケと差別化するマーク『栽培原料原産地商標』（どんぐりマーク）を推進していくことが重要だと考えております。更に、菌床製造地表示に関する義務化に向けた運動も進めてまいりますので、会員の皆様にもご協力いただきますようお願い致します。

併せて生産技術の向上と流通販売対策の構築、後継者育成が健全な産業発展を図るうえで重要でございますので、次に掲げる三大方針を継続して実践していくことが、全国サンマッシュ生産協議会の使命だと考えます。

- ① 「消費者に支持される安全安心美味しい商品づくり」
- ② 「サンマッシュブランド化の推進」
- ③ 「青年部活動と消費拡大の推進」

この方針を積極的に推進するため、青年部が中心となってシイタケの消費拡大を目的とした活動を継続しております。活動については菌輪等で随時報告してまいりますので、今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

第36回全国大会は、岩手県久慈市の「久慈市文化会館アンバーホール」で開催致します。初日の研修会では、特別企画研修会として中国菌棒の情報と対策について説明を行います。栽培技術研修会では、新品種『北研903号』『北研905号』の優良栽培事例の紹介や失敗事例の総括など盛りだくさんな内容となっております。第32回品評会では、選りすぐりの自信作の出品をお待ちしております。また、本年公募した生しいたけレシコンテスト作品の結果報告も計画しております。

2日目の視察研修会は、東日本を代表する生産規模と生産技術を誇る（有）越戸きこの園様、並びに隅々まで行き届いた栽培管理で607号を自在にコントロールしている（株）大矢内きこの園様で開催致します。参加者の皆様の収益改善の参考となれば幸いです。

会員が一丸となり、第36回全国大会を通じて生産技術・品質・収量の向上と『サンマッシュ』の美味しさや安全性を全国にアピールし、厳しい経営環境に打ち勝つため、会員の皆様をごぞって参加されますよう全国大会開催のご案内とともにお願い申し上げます。

謹 白

本年10月に森坪清則会長より体調が万全でないため、協議会運営に支障なき体制をとってほしいとの申し出がありました。11月30日役員会において調整・協議した結果、協議会規約第12条（役員の仕事）2項に従って、坂口副会長を次期役員改選まで会長代行とし協議会運営をお願いすることになりましたので会員並びに関係者の皆様にご報告申し上げます。 協議会事務局

令和3年12月吉日

全国サンマッシュ生産協議会

会長 森 坪 清 則
会長代行 坂 口 常 博

第36回全国大会スケジュール

1. 日時

令和4年2月1日(火) 13:30 ~ 2月2日(水) 12:00
(受付開始 11:00 ~)

2. 会場

○総会・研修会・品評会
久慈市文化会館アンバーホール
〒028-0051 岩手県久慈市川崎町17-1
大会会場(総会・研修会) TEL 0194-52-2700
品評会会場 1F 大ホール
○懇親会・しいたけ超簡単レシピコンテスト結果発表 3F 展示室
久慈グランドホテル
〒028-0051 岩手県久慈市川崎町10-15 TEL 0120-10-2225

3. 開催内容

- (1) 開会式典 《2月1日 13:30 ~ 14:10》
大会開会宣言
主催者挨拶 全国サンマッシュ生産協議会
来賓祝辞 株式会社 北研
- (2) 通常総会 《14:10 ~ 14:50》
総会議事
令和3年度事業報告並びに収支決算の承認について
令和4年度事業計画(案)並びに収支予算(案)の承認について
役員改選について
- (3) 特別企画研修会 (株)北研 《15:00 ~ 15:15》
中国菌棒の情報と対策について
- (4) 栽培技術研修会 (株)北研 食用菌類研究所 《15:15 ~ 16:50》
【品種編】
1. 新品種「北研903号」「北研905号」の優良栽培事例
【技術編】
2. 失敗事例の総括 ~栽培の基本に立ち返るために~
【視察地紹介】
3. 有限会社越戸きのご園 様
4. 株式会社大矢内きのご園 様
- (5) 第32回品評会
1. 出品物観覧 《17:00 ~ 17:40》
2. 審査結果発表、表彰式 《18:30 ~ 18:50》
- (6) しいたけ超簡単レシピコンテスト結果発表 《18:50 ~ 19:00》
- (7) 懇親会 《18:50 ~ 20:50》
- (8) 視察研修会 《2月2日 7:00 ~ 12:00》
有限会社越戸きのご園 様 (岩手県久慈市待浜町保土沢8-27-1)
株式会社大矢内きのご園 様 (岩手県久慈市夏井町早坂第1地割2-10)

【参加申し込み期限】

準備の都合上、出欠のご返事は1月10日(月)までに、同封の返信用FAX用紙にて事務局宛に返信ください。宿泊のお申込みは、(株)農協観光へFAXしてください。

全国サンマッシュ生産協議会 第36回全国大会（岩手大会） 栽培技術研修会

株式会社北研 食用菌類研究所

菌床シイタケ業界は、資材費・光熱費の上昇や慢性的な単価低迷などにより、大変に厳しい状況となっております。その対策として、「サンマッシュ生産経営」の安定化が最重要と考えます。そこで今回は、安定的な経営にとって不可欠な「品種」と「栽培技術」の二つに焦点をあてたテーマを企画いたしました。是非ともご参加いただき、一つでも良い情報を持ち帰っていただければと思います。

研 修 内 容

【品 種 編】

1. 新品種「北研903号」「北研905号」の優良栽培事例

2020年の春に試験販売を開始した新品種「北研903号」「北研905号」は全国各地で試験導入が進んでいます。今回は、その中から優れた栽培成績を上げている導入事例について紹介し、この二品種の有利な使い方について提案します。



北研903号



北研905号

【技術編】

2. 失敗事例の総括 ～栽培の基本に立ち返るために～

2019年の全国大会より三年間に亘ってシリーズで紹介してきた失敗事例について、「菌床製造編」、「培養工程編」、「発生工程編」の全編を通した総括をしつつ、サンマッシュ栽培の基本について栽培の各工程別に抑えるべきポイントおよび推奨条件をおさらいします。また、改めてご自身の栽培について点検をしていただくうえで便利な栽培工程別のチェックシートも紹介します。

発生工程における失敗事例の一例		培養工程における失敗事例の一例	
光不足	 <p>栽培条件：照明を一切点けずに生育させた 現れた症状：柄の徒長、傘色の白色化</p>	酸欠	 <p>栽培条件：フィルターを塞いで培養した 現れた症状：褐変不良、菌床軟化、不発生</p>
乾燥	 <p>栽培条件：発生中に菌床に送風し乾燥させた 現れた症状：上面被膜の硬化、上面発生の減少、側面発生の増加</p>	高温	 <p>栽培条件：室温30℃一定で一次培養した 現れた症状：蔓延遅延、菌糸塊不形成、菌糸の異常着色（黄ばみ）</p>

【視察地紹介】

3. (有) 越戸きのご園様 (岩手県久慈市)

東日本エリアでは屈指の生産規模を誇り、先進技術の導入にも積極的に取り組んでいる(有)越戸きのご園様について、北研607号-Sを使用した上面栽培により「安定生産」と「省力的管理」を実現する栽培体系や、先進技術として取り入れた「バイオマスボイラー」や「ICTシステム」の活用について紹介します。

4. (株) 大矢内きのご園様 (岩手県久慈市)

令和元年度補助事業を活用し、仕込み施設やパック施設を含む年間20万菌床規模の栽培施設を新設された(株)大矢内きのご園様について、北研607号-Sおよび03を使用し「高品質なきのこ」と「安定生産」を両立する栽培体系や、農副連携の活用などについて紹介します。

視察地
紹介

北研607号を使いこなす栽培技術！ 東日本を代表する生産規模と先進技術を ドーンとご紹介



有限会社 越戸きのこ園



株式会社 大矢内きのこ園

【視察先概要と見どころ】

〈有限会社 越戸きのこ園 様〉

平成 12 年に原木栽培から菌床栽培に転換し平成 20 年度には菌床製造施設及びチップ製造を整備したことにより、県産材にこだわり原料であるチップ製造からパッケージまで一貫生産を行っています。平成 25 年には久慈地域のみならず、岩手県の菌床栽培を牽引してきた実績が認められ、「第 42 回日本農業賞 個別経営の部」で特別賞を受賞されました。平成 27 年にはバイオマスボイラー菌床製造施設、パックセンター、栽培ハウスを 60 棟整備し現在は 150 万菌床の栽培規模となっております。ハウスを増設の際には空調システムを一貫管理できるように ICT 先端技術の導入を行っています。

〈株式会社 大矢内きのこ園 様〉

平成 17 年に久慈市山形村で菌床栽培を開始し、令和元年に規模拡大を行い、現在の同市夏井町で栽培を行っています。栽培施設は岩手県ではお馴染みの吹付け断熱ハウスで 607号-Sと607号-03を上面栽培でコントロールしております。栽培管理は隅々まで気を配った管理を徹底し夏季の品質低下を起こしやすい時期でも秀品率 70%と高い水準で品質を維持しつつも菌床当たり 1.2 kgの出荷量を確保しています。新規就農者研修生の受入れや久慈市とタイアップし農福連携にも取組み地域貢献にも寄与されております。

【視察タイムスケジュール】

視察コース	宿泊ホテル	出発時間	アンバーホール着	JR八戸駅着予定
Aコース	久慈グランドホテル	7:00	—	12:00
	久慈第一ホテル	7:00	—	12:00
	グリーンヒルおおの	7:00	—	12:00
	マリンサイドスパたねいち	7:00	—	12:00
Bコース	ホテル羅賀荘	7:00	—	12:00
Cコース	自家用車・レンタカー・支部バス	7:30	11:30	—

- ・視察会場には自家用車・レンタカーの乗入が出来ませんので、大会会場の久慈市文化会館アンバーホールへお車を駐車頂きCコースの協議会バスへご乗車願います。
- ・支部バスについては、Cコース協議会バスと一緒に移動となります。
- ・研修会会場から懇親会会場、懇親会会場から各宿泊ホテルまでは送迎バスを準備しますのでご利用願います。

大会事務局からのお知らせ

1. 大会への参加方法

(1) 参加資格

サンマッシュ会員（正会員、準会員、賛助会員）ならびに関係者が参加資格を有しています。
会員及び関係者以外の方については、会員あるいは栃北研の紹介があり、今後サンマッシュ生産を行う予定の方を有資格者としてします。それ以外の方は参加できません。

(2) 大会参加費

大会参加費は下記の通りです。
納入については、(株)農協観光岩手支店へ事前納入または当日受付で頂戴いたします。
会員関係者が参加する場合は会員と同一の参加費といたします。
女性の参加を歓迎するため、女性参加費を軽減いたします。

資 格	大会・懇親会・視察	大会・視察
会員（男性）	12,000円	4,000円
会員（女性）	10,000円	4,000円
会 員 外	30,000円	15,000円

※宿泊については、(株)農協観光岩手支店が窓口となりますので、そちらにお申込みください。

懇親会を開催するホテルでは、宿泊参加される皆様全員をお泊めできるキャパがございませんので、分宿となります。尚、(株)農協観光では、航空券やJR券+のパックは取り扱っておりませんので、パックをご利用する場合は、ご自分で宿泊予約をお願い致します。

(3) 申込みについて

大会参加の申込書は、(株)農協観光岩手支店へFAXしてください。
宿泊の申込書は、(株)農協観光岩手支店へFAXしてください。下記の流れでお願いします。

参加申込 及び 宿泊申込 に関する流れ（イメージ）



2. 品評会のお願い

第32回サンマッシュ品評会を開催いたします。入賞者には豪華な賞品を盛沢山用意しております。大会に参加されない方の出品も大歓迎です。是非とも全ての会員の方々からの出品をお待ちしております。詳しい内容については、添付の品評会開催要項をご覧ください。

3. 年会費納入のお願い

年会費が未納の方は、同封の振替用紙にて送金くださるか、または大会当日の受付にてご入金をお願いいたします。

4. 新型コロナウイルス対応

◎ワクチン2回接種が参加の条件となります。（受付時に確認致します。）

参加される方は必ずマスクの着用をお願いします。

◎懇親会につきましてはソーシャルディスタンスを確保するため、現在のところ280名程度での開催を計画しております。

◎新型コロナウイルスの感染状況によっては、開催内容が変更になる場合がございますのでご了承下さい。

5. お問い合わせ先

〔大会・懇親会・視察・品評会に関するお問合せ〕

(株)農協観光 全国サンマッシュ生産協議会事務局

TEL 0282-82-8285 (直通)

FAX 0282-82-1119

〔宿泊に関するお問合せ〕

(株)農協観光 岩手支店

TEL 019-622-1005

FAX 019-652-1820

交通のご案内(2021年11月28日現在)

2022年2月1日



2月1日

飛行機でいわて花巻空港へお越しの方

飛行機 各地⇒いわて花巻行き			
出発空港	便名	出発時間	到着時間
新千歳	JAL2831	7:45	8:45
名古屋(小牧)	FDA351	7:10	8:20
大阪(伊丹)	JAL2181	7:05	8:30

いわて花巻空港バス(いわて花巻空港⇒JR盛岡駅)			
連絡する空港便		いわて花巻空港発	JR盛岡駅到着
出発地	花巻着		
新千歳	8:45	9:00	9:45
名古屋(小牧)	8:20		
大阪(伊丹)	8:30		

2月2日

飛行機でいわて花巻空港からお帰りの方

飛行機 いわて花巻⇒各地			
到着空港	便名	出発時間	到着時間
新千歳	JAL2832	15:15	16:10
新千歳	JAL2838	17:10	18:05
名古屋(小牧)	FDA356	17:10	18:35
大阪(伊丹)	JAL2186	15:55	17:30

いわて花巻空港バス(JR盛岡駅前⇒いわて花巻空港)			
JR盛岡駅前発	いわて花巻空港着	連絡する空港便	
		花巻発	到着地
13:45	14:30	15:15	新千歳
14:25	15:10	15:55	大阪(伊丹)
15:40	16:25	17:10	新千歳
		17:10	名古屋(小牧)

新幹線で二戸へお越しの方

新幹線 東京⇒二戸行き					
東京発	出発時間			到着時間	
	便名	東京	仙台		盛岡
	はやぶさ1号	6:32	8:05	8:50	9:09
	はやぶさ5号	7:32	9:05	9:48	10:12
	はやぶさ11号	9:08	10:41	11:25	11:50

新幹線で八戸からお帰りの方

新幹線 八戸⇒東京行き					
東京発	出発時間	到着時間			
		八戸	盛岡	仙台	東京
	はやぶさ22号	12:16	12:45	13:29	15:04
	はやぶさ24号	13:07	13:44	14:29	16:04
	はやぶさ28号	14:16	14:44	15:29	17:04

久慈市文化会館アンバーホール アクセス方法

- 空港 いわて花巻空港からバスで盛岡駅まで約45分
- JRをご利用される方
 - 東京駅(東北新幹線) 二戸駅 約2時間40分
 - 盛岡(東北新幹線) 二戸駅 約20分
 - 二戸駅からJRバスに乗り換え 久慈駅まで約70分
- お車をご利用の方
 - 盛岡IC(東北自動車道)～九戸IC～R340 九戸/久慈方面へ～ 約2時間
 - 駐車場 駐車台数280台
- 久慈駅から久慈市文化会館アンバーホールまでのアクセス方法
 - 久慈駅(西口)から地下通路を通り(東口)久慈警察署前～久慈市役所前～大会会場へ 徒歩約10分

JRバス/協議会バス		
No	二戸駅発	久慈駅着
①	9:20	10:30
②	10:30	11:40
③	12:00	13:10

②二戸駅発～久慈駅行きのバスは、協議会バスとなります。バスご利用の方は参加申込書へご記入願います。



— 徒歩順路 — - - - 地下通路

改札を出たら右へ進む。
三陸鉄道久慈駅の前を通り地下通路に進む。
地下通路を出たら直進し、会場へ。

説明項目 7	木炭生産力向上研修会の開催について (林務部)
--------	--------------------------------

日本一の木炭生産量を誇る本県において、岩手県製炭技士を講師に若手木炭生産者の技術力及び生産量の向上を図ることを目的とした研修会を開催しますので、取材いただきますようお願いいたします。

なお、これまで岩手県製炭技士の養成のための研修会は開催してきたところですが、新規参入者を始め若手生産者を対象とした研修会は今回初めて開催するものです。

- 1 日時
令和4年1月19日(水)10時00分～15時00分
- 2 場所
北部産業株式会社製炭場(洋野町大野70-2)
- 3 主催
岩手県林業振興課
- 4 対象
県内の50歳以下の木炭生産者(参加予定8名程度)
- 5 内容
製炭技術に関する技術指導
詳細は別添の実施要領を御覧ください。
- 6 講師
岩手県製炭技士 しんでん とくお 新田 徳男 氏(北部産業株式会社 窯長)

【参考】岩手県製炭技士(通称「チャコールマイスター」)

築窯・製炭技術の普及のために指導を行う中核的な人材として、製炭技士養成研修会の修了者を県が認定しているもの。

現在までに22名が認定され、市町村別では久慈市4名、洋野町4名、二戸市2名、一戸町1名、軽米町5名、九戸村1名、その他5名となっており、県北地域の生産者が中心となっている。

担当：林業振興課長兼上席林業普及指導員 多田野
電話：0194-53-4984 内線226

木炭生産力向上研修会実施要領

令和3年12月13日

岩手県林業振興課

1 目的

岩手県は日本一の木炭生産量を誇り、また国の地理的表示保護（GI）制度に認定されるなど品質についても高く評価されている。しかし、近年、生産者の高齢化や原木価格の高騰等により木炭の生産量は減少し続けている。

本研修会は、岩手県製炭技士と連携し、若手木炭生産者の技術力及び生産量の向上を図ることを目的として実施する。

2 対象者

県内の50歳以下の木炭生産者

3 募集人数

5名程度

4 日程及び研修内容

- ・日程 令和4年1月19日（水） 10時～15時
- ・内容 製炭技術（原木の調整・立込、精煉等）に関する技術指導。

月 日	時 間	研 修 内 容
1月19日 （水）	10:00～10:10	開講式
	10:10～10:30	原木の調整、立込み
	10:30～12:00	炭化操作（着火）
	12:00～13:00	昼食
	13:00～14:15	炭化操作（精煉）
	14:15～14:50	窯出し
	14:50～15:00	閉講式

※研修時間は当日の状況により前後することがあります。

5 研修場所

北部産業株式会社 製炭場（九戸郡洋野町大野70-2）

6 講師

岩手県製炭技士 新田 徳男 氏（北部産業㈱ 窯長）

7 その他

作業に適した服装とし、雨具、昼食を持参すること。

新型コロナウイルス感染症対策として、マスクを着用して受講すること。

説明項目 8

【復興支援道路】一般国道 281 号下川井工区の開通式を開催します！
(土木部)

令和 4 年 2 月 5 日 (土) 県の「復興支援道路」として整備を進めてきた一般国道 281 号下川井工区の開通式を開催しますので、取材いただきますようお願いいたします。

今回の開通により、当該区間における急カーブなど交通のあい路区間が解消され、安心・安全な通行が確保されるとともに、物流や観光などの産業振興、県立久慈病院への救急搬送のアクセス性向上などの効果が期待されます。

県北地域における東日本大震災津波関連の道路事業としては最後の開通区間となります。

取材を希望される方は、1 月 28 日 (金) までに別添 F A X 票を送信願います。

開通式概要

- 1 日時：令和 4 年 2 月 5 日 (土) 11 時 00 分～ (1 時間程度を予定)
一般車両の開通時間は、後日お知らせします。
- 2 場所：久慈市山村文化交流センター「おらほーる」(久慈市山形町川井 13-38)
現地 (下川井トンネルの山形側坑口付近)
- 3 主催：岩手県県北広域振興局
- 4 内容：地元芸能、式辞、祝辞、工事報告、くす玉開披・テープカット、パレード
当日は、工事報告までを「おらほーる」で行い、その後、現地に移動し、くす玉開披・テープカット及びパレードを行う予定です。



事業概要

延長：1,160m、幅員：6.0 (12.0) m、事業期間：H28～R3、総事業費：約 38 億円

主要構造物：下川井トンネル 510m、下川井 1 号橋 44.1m、下川井 2 号橋 21.5m

担当：道路整備課長 田中 傑
電話：0194-66-9688 内線 261

一般国道 281 号下川井工区開通式 取材申込用

F A X 送信票

報道機関の皆様へ

式典当日の参加者や駐車台数把握のため、以下にご記入の上、1月28日(金)までに本状をFAX下さいますようお願いいたします。

岩手県県北広域振興局土木部 道路整備課 行き

FAX 番号 0194-61-1123

会社名 _____

取材人数 _____

取材車両の有無 有 無

有無のいずれかに○をお願いします。

御担当者（お名前） _____

連絡先（電話番号） _____

説明項目 9	県立高等技術専門校生対象の「自動車整備業界ガイダンス」開催について （二戸高等技術専門校）
--------	--

二戸、千厩、宮古の県立高等技術専門校3校は、1月25日（火）に盛岡市で「自動車整備業界ガイダンス」を合同開催します。

今年で8回目となるこの催しは、県内で自動車整備士を目指す高等技術専門校1年生が一堂に会し、県内企業の担当者から会社の特徴や整備士の仕事の実際を直接聞きくことで職業意識の醸成を図ることを目的として開催するものです。就職に向けての第一歩を踏み出す学生の様子を取材願います。

なお、実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して行います。

1 主催

岩手県立千厩高等技術専門校 （校長 ^{かねざき}金崎 ^{たけし}毅）

岩手県立宮古高等技術専門校（幹事校） （校長 ^{ほそごえ}細越 ^{つよし}健志）

岩手県立二戸高等技術専門校 （校長 ^{あきら}今野 智）

2 共催

一般社団法人日本自動車販売協会連合会岩手県支部（自販連岩手県支部）

一般社団法人岩手県自動車整備振興会（整備振興会）

3 対象

岩手県立高等技術専門校3校の自動車システム科1年生（32名）

（うち、二戸高等技術専門校からは9名）

4 開催日時

令和4年1月25日（火） 午前11時から午後2時40分まで

5 開催場所

ふれあいランド岩手

（岩手県盛岡市三本柳8地割1番3 電話019 637 7544）

6 参加企業等

自販連岩手県支部の正会員（29社）のうち参加を希望する事業者

一般社団法人岩手県自動車整備振興会

7 内容

(1) 自動車整備業界概要説明（午前11時05分から11時25分まで）

ア 自販連岩手県支部

ディーラー（乗用車系、大型系）の特徴・現状等の説明

イ 整備振興会

民間整備工場の特徴・現状等の説明

(2) 個別ガイダンス（午前11時25分から2時40分まで、1ガイダンス40分×3回）

参加企業が、各校の学生と面談

〔各校の学生は、乗用車系、大型系からそれぞれ最低1社以上、複数のメーカー系列の社を選択し、参加企業3社と面談する。〕

8 お問い合わせ

岩手県立二戸高等技術専門校（二戸市石切所字上野々92-1 電話 0195-23-2227）

一般社団法人日本自動車販売協会連合会岩手県支部（会長 千葉 理平）
自動車の健全な普及と流通・環境面等の諸問題の改善、整備を図る目的を達成するため、昭和 34 年に設立された自動車ディーラーの全国組織です。岩手県支部は昭和 40 年に設立されました。

一般社団法人岩手県自動車整備振興会（会長 千葉 泰）
自動車整備に関する設備改善・技術向上の促進、車社会の健全な発展と自動車使用者の利益増進に寄与する目的を達成するため、県内の自動車分解整備事業者を会員とする組織です。昭和 29 年に設立されました。

担当	県立二戸高等技術専門校 校長 今野 智、 校長補佐 阿部恵一 電話： 0195 - 23 - 2227
----	---

令和3年度 岩手県立高等技術専門校合同「自動車整備業界ガイダンス」
開催要領

1 目的

岩手県立高等技術専門校自動車システム科の学生に対し、県内の自動車整備業界を取り巻く情勢及び人材育成に関する情報等を提供することにより、学生の職業意識の醸成を図る。

2 主催

岩手県立千厩高等技術専門校
岩手県立宮古高等技術専門校
岩手県立二戸高等技術専門校

3 共催

一般社団法人日本自動車販売協会連合会岩手県支部
一般社団法人岩手県自動車整備振興会

4 対象

岩手県立高等技術専門校3校の自動車システム科1年生(32名)

5 開催日等

令和4年1月25日(火) 11時～14時40分

6 開催場所

ふれあいランド岩手
〒020-0834 岩手県盛岡市三本柳8地割1番3
電話 019-637-7544

7 参加企業等

- ・ 一般社団法人日本自動車販売協会連合会岩手県支部の正会員(29社)のうち参加を希望する事業者
- ・ 一般社団法人岩手県自動車整備振興会

8 当日の日程

別添のとおり

令和3年度 岩手県立高等技術専門校合同「自動車整備業界ガイダンス」
日程表

期日 令和4年1月25日(火) 11時～14時40分

場所 ふれあいランド岩手 研修室(2階)・ふれあいホール(1階)

時刻	内容	備考
10:00～	会場準備	・3校で対応
～10:50	会場準備終了	
11:00 ～11:05	開会 主催者挨拶	・岩手県立高等技術専門校【3校の幹事校】 岩手県立宮古高等技術専門校長 細越 健志
11:05～ 11:25 (各10分)	自動車整備業界概要説明 【会場：ふれあいホール】 (学生全員：着席)	・説明者 (一社)日本自動車販売協会連合会岩手県支部 (一社)岩手県自動車整備振興会 ・説明内容 民間整備工場のそれぞれの特徴・現状等を説明
	受付、誘導	宮古校、二戸校、指導員各校1名 計5名
11:25～ 11:35	(事業者の説明準備) (学生移動)(10分)	
11:35～ 11:40	個別ガイダンスの進め方説明	・説明は1階：宮古校、2階：千厩校
11:40～ 12:20	個別ガイダンス (40分) 【会場：研修室/ふれあいホール】	・参加企業と学生との面談(説明、質疑応答)
12:20～ 13:10	(昼食・休憩)(50分)	・
13:10～ 13:50	個別ガイダンス (40分) 【会場：研修室/ふれあいホール】	
13:50～ 14:00	(学生移動10分)	
14:00～ 14:40	個別ガイダンス (40分) 【会場：研修室/ふれあいホール】	
14:40	閉会	
14:40～ 15:30	事務連絡 後片付け	

1社40分×3セット、移動時間は10分、各校の学生は、個別ガイダンスを受けたい企業を3社選定

昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修室とホールの2会場で行います。

三密を避けるため、各企業の出席者は2名程度まで

説明項目 10	令和4年度入校生2次募集の実施について (二戸高等技術専門校)
---------	------------------------------------

未来の匠を育てる県立二戸高等技術専門校では、自動車システム科（定員 20 名）及び建築科（定員 15 名）の令和4年度入校生の2次募集を次のとおり行います。

自動車整備、建築大工のプロになる力を2年で身に付けることができる県立二戸高等技術専門校の学生は、令和2年度の就職率も100%の就職実績であるほか、今年度の就職についても全学生が内定を得ています。

また、2年ぶりに開催された若年者ものづくり技能競技大会において、敢闘賞に入賞、岩手県若年者技能競技会において、20名中9名が入賞したうえ、1年の部において金賞を受賞する等、抜群の実績を誇っています。

県立二戸高等技術専門校一般選考の出願期間は、12月16日(木)から2月21日(月)までです。

詳細は、本校のホームページにも掲載しています。

1 募集人数

自動車システム科、建築科とも若干名

2 応募資格

高等学校を卒業した者（令和4年3月に卒業見込の者を含む。）又はこれと同等以上の学力を有すると認められる者。

3 選考日程

- ・出願期間 令和3年12月16日(木)から令和4年2月21日(月)まで(当日消印有効)
- ・試験日・合格発表

	願書受付期間	試験日	合格発表日
前期	令和3年12月16日(木) ～令和4年1月26日(水)	令和4年2月3日(木)	令和4年2月10日(木)
後期	令和4年1月27日(木) ～2月21日(月)	令和4年3月3日(木)	令和4年3月10日(木)

注1 前期・後期の各願書受付期間に本校で受け付けた分について、右欄の日に選考試験を実施します。

注2 前期、後期の別は、郵送の場合は消印で、持参の場合は、受領した日で判別します。

4 選考試験

- ・県立二戸高等技術専門校にて、筆記試験（国語、数学）及び面接を行います。（筆記試験の試験時間は、推薦選考試験と同じく1時間です。）

5 出願書類

入校願書A・受験票、身上調書、調査書、健康診断書、受験票送付用封筒

【注】出願書類の詳細については、令和4年度入校生2次募集要項を御覧ください。

【注】出願書類の用紙は、県立二戸高等技術専門校へ請求してください。

6 入校検定料

2,200円（入校願書A・受験票に岩手県収入証紙を添付してください。）

【注】今年度、岩手県立職業能力開発校の推薦選考又は一般選考を受験した者は、本募集に係る入校検定料は不要です。

なお、下記のいずれかに該当する者については、岩手県収入証紙を貼付せず、入校検定料免除申請書（別途様式あり）を添付することで、入校検定料が免除となる場合があります。

平成 23 年東北地方太平洋沖地震及び津波、平成 28 年台風第 10 号又は令和元年台風第 19 号により甚大な被害を受けた者

新型コロナウイルス感染症及びそのまん延防止のための措置の影響に起因する経済的事情により修業が困難で特に必要があると認められる者

7 出願方法

- ・ 出願書類は、すべて県立二戸高等技術専門校に提出してください。
- ・ 郵送の場合は、封筒に「入校願書在中」と朱書きして書留又は簡易書留で送付してください。
- ・ 持参する場合の受付時間は、平日の午前 9 時から午後 5 時までです。

在校中の経費

- ・ 入校料 5,650 円（令和 3 年度入校生）
- ・ 授業料 118,800 円（年額・令和 3 年度入校生）
- ・ 諸経費 入校のためには、上記の他に教科書、作業服、資格試験、各種工具類、任意加入保険（訓練災害保険）等の費用が必要となります（自動車システム科 311,000 円、建築科 327,000 円（2 年（概算））。

学生寮

- ・ 定員 40 名
- ・ 寄宿舎料等 寮費 12,000 円（年額・令和 3 年度）
光熱水費 120,000 円（年額・令和 3 年度）
食費 196,000 円（年額・令和 3 年度）

公的融資制度

経済的な理由により就学が困難な方には、次の公的融資制度があります。

- ・ 技能者育成資金 [窓口：二戸高等技術専門校]
- ・ 生活福祉資金（福祉資金福祉費）[窓口：最寄りの市町村社会福祉協議会]
- ・ 母子父子寡婦福祉資金（就業資金、技能習得資金）[窓口：最寄りの広域振興局]
- ・ 教育一般貸付（国の教育ローン）[窓口：日本政策金融公庫のホームページ又は各支店]
- その他
- ・ 鉄道やバスによる通学者の定期旅客運賃学生割引が適用されます。
- ・ 訓練中や通学途上の事故等には、「災害見舞金制度」適用が受けられる場合があります。
- ・ 国民年金保険料の納付が猶予される「学生特例制度」対象となります。（市町村へ届出が必要となります。）
- ・ 経済的理由によって授業料の納付が困難な方は、授業料の全部又は一部を免除する制度の対象となる場合があります。

	県立二戸高等技術専門校
担当	校長 今野 智（あきら） 校長補佐 阿部恵一 電話： 0195 - 23 - 2227

岩手県立二戸高等技術専門校 2次募集選考日程について

1 出願期間

令和3年12月16日(木)から令和4年2月21日(金)まで(当日消印有効)

ただし、定員を充足した場合、上記期間内であっても募集を終了する場合があります。(その場合は、本校ホームページ上にその旨掲載します。)

2 出願期間(願書受付期間)・選考日程等

願書受付期間・選考試験日・合格発表日

	願書受付期間	選考試験日	合格発表日
前期	12/16(木)～1/26(水)	2/3(木)	2/10(木)
後期	1/27(木)～2/21(月)	3/3(木)	3/10(木)

前期・後期の各願書受付期間に本校で受け付けた分について、右欄の日に選考試験を実施します。

前期、後期の別は、郵送の場合は消印で、持参の場合は受領した日で判別します。

試験日程

筆記試験 午前10時～11時(60分間)

面接試験 午前11時20分～

出願状況により、早まる場合があります。

3 選考場所

岩手県立二戸高等技術専門校

4 問合せ先及び入校願書の提出先

岩手県立二戸高等技術専門校

〒028-6103 岩手県二戸市石切所字上野々92番地1

電話 0195-23-2227 FAX 0195-23-9081

E-mail CD0007@pref.iwate.jp

URL <https://www.pref.iwate.jp/sangyokoyou/koyouroudou/shisetsu/ninohe/index.html>



企業が
欲しがる
即戦力に

岩手県立高等技術専門校

令和4年度入校生

2次募集



岩手県立千厩高等技術専門校

〒029-0803 一関市千厩町千厩神ノ田60-1 TEL 0191-52-2125

■自動車システム科 高卒2年課程・定員20人

岩手県立宮古高等技術専門校

〒027-0037 宮古市松山第8地割29-3 TEL 0193-62-5606

■自動車システム科 高卒2年課程・定員15人

■金型技術科 高卒1年課程・定員10人

岩手県立二戸高等技術専門校

〒028-6103 二戸市石切所字上野々92-1 TEL 0195-23-2227

■自動車システム科 高卒2年課程・定員20人

■建築科 高卒2年課程・定員15人

【募集定員】

各校各科（宮古校 自動車システム科を除く） 若干名

【出願期間】

入校を希望する校にお問い合わせください。
※定員を充足した場合、募集を終了している場合があります。

〈お問い合わせは各志望校まで〉

岩手県 職業能力開発施設

検索



<https://www.pref.iwate.jp/sangyoukoyou/koyouroudou/shisetsu/index.html>



岩手県

岩手県商工労働観光部
定住推進・雇用労働室 労働担当

〒020-8570 盛岡市内丸10-1
TEL 019-629-5583 FAX 019-629-5589

岩手県立職業能力開発校 令和4年度入校生2次募集要項

1 募集訓練科及び募集人員

校名	訓練科名	定員	訓練期間	募集人員
千厩高等技術専門学校	自動車システム科	20名	2年	若干名
宮古高等技術専門学校	金型技術科	10名	1年	若干名
二戸高等技術専門学校	自動車システム科	20名	2年	若干名
	建築科	15名	2年	若干名

2 応募資格

高等学校を卒業した者（令和4年3月卒業見込の者を含む。）又はこれと同等以上の学力を有すると認められる者

3 出願書類

(1) 出願期間

各職業能力開発校の定める期間

ただし、定員を充足した場合、上記期間内であっても募集を終了する場合があります。

(2) 出願書類

提出書類等	摘要
入校願書A・受験票	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出願前3か月以内に撮影した写真を貼付してください。 （正面上半身、脱帽、縦4cm×横3cm） ○ 入校検定料として岩手県収入証紙（2,200円分）を貼付してください。 ※ 今年度、岩手県立職業能力開発校の推薦選考又は一般選考を受験した者は、本募集に係る入校検定料は不要です。推薦選考又は一般選考の受験票の写しを添付してください。 ※ 下記のいずれかに該当する者については、岩手県収入証紙を貼付せず、入校検定料免除申請書(別紙様式)を添付することで、入校検定料が免除となる場合があります。 ①平成23年東北地方太平洋沖地震及び津波、平成28年台風第10号又は令和元年台風第19号により甚大な被害を受けた者 ②新型コロナウイルス感染症及びそのまん延防止のための措置の影響に起因する経済的事情により修業が困難で特に必要があると認められる者 ○ 出願は、第1志望訓練科のみとしますので、第2志望以下の科の記入欄には記入しないでください。
身上調書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 所定の用紙に記入してください。
調査書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 最終卒業（見込を含む。）学校長が証明し厳封したもの（開封無効）。なお、指導要録の保存期間満了、統廃合、被災その他の理由によって調査書が提出できない者にあつては、最終学校の成績証明書でこれに代えることができます（開封無効、発行できない場合は卒業証明書）。 ○ 高等学校卒業程度認定試験合格者にあつては、合格証明書と合格成績証明書でこれに代えることができます（開封無効）。
健康診断書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 所定の用紙を用いてください。 ○ 令和4年3月卒業見込の者は、定期健康診断書等の写しにより、これに代えることができます。
受験票送付用封筒	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定型封筒（長形3号）に、出願者の住所、氏名、郵便番号を記入し、404円分の切手（簡易書留料含む）を貼付してください。

(3) 出願方法

ア 出願書類は、入校を希望する各職業能力開発校に提出してください。

イ 郵送の場合は、封筒に「入校願書在中」と朱書きして書留又は簡易書留で送付してください。

ウ 持参する場合の受付時間は、平日の午前9時から午後5時までです。

(4) 受験票の交付

受験票は、入校願書を受理した後、出願者に郵送します。

(5) 出願上の注意事項

- ア 提出された書類及び入校検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- イ 提出書類に虚偽の記載をした場合又は虚偽の書類を提出した場合は、合格後であっても合格を取り消すことがあります。

4 選考試験

(1) 選考場所

入校を希望する職業能力開発校

(2) 選考日時

各職業能力開発校の定める日時

(3) 選考方法

筆記試験（国語、数学）及び面接

※ 筆記試験は、それぞれ国語総合（古文、漢文を除く）、数学Ⅰまでの範囲から出題します。

(4) 受験上の注意事項

ア 受験票、筆記用具を持参してください。

イ 試験中は、受験票、筆記用具、消しゴム、時計（計算機能や情報端末機能等がないもの）以外の物を机の上に置くことができません。

また、試験中は携帯電話等の電源スイッチを切り、試験が終了するまでカバン等に収納してください。

ウ 試験開始後、30分以上遅刻した者は、受験できません。

エ 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が求められている感染症に罹患し治癒していない場合は、他の受験者や監督員等への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、症状により学校医その他の医師において、感染のおそれがないと認められたときは、この限りではありません。

5 合格発表

(1) 合格発表日

選考試験実施の日から7日以内

(2) 発表方法

受験者あてに文書で合否の通知をします。

6 開示請求

岩手県個人情報保護条例に基づき、試験結果について、次のとおり口頭による開示請求を行うことができます。

(1) 受付先

受験した職業能力開発校

(2) 受付期間

合格発表の日から1か月間

(3) 受付時間

午前9時から午後5時まで（土曜日、日曜日、祝日及び年末年始（12/29～1/3）を除く）

(4) 請求方法

受験票及び学生証等本人の顔写真が貼付された書類を提示して、開示請求をしてください。請求できる方は、受験生本人に限ります。

(5) 開示内容

筆記試験の科目別得点及び面接評定

7 問合せ先及び入校願書の提出先

○千厩高等技術専門校

〒029-0803 岩手県一関市千厩町千厩字神ノ田60-1

TEL 0191-52-2125 FAX 0191-53-2598

○宮古高等技術専門校

〒027-0037 岩手県宮古市松山第8地割29-3

TEL 0193-62-5606 FAX 0193-64-6596

○二戸高等技術専門校

〒028-6103 岩手県二戸市石切所字上野々92-1

TEL 0195-23-2227 FAX 0195-23-9081

参考

1 在校経費

○ 入校料

5,650円（令和3年度入校生）

○ 授業料

118,800円（年額・令和3年度入校生）

※ 納付方法

1年を第1期、第2期、第3期の3回に分けて納付します。納付期限は、第1期が4月、第2期は8月、第3期は12月です。

○ 諸経費

入校時には、上記のほかに教科書、作業服、資格試験、各種工具類、任意加入保険（訓練災害保険）等の費用が必要となります。

2 学生寮

自宅からの通学が困難な学生のために、学生寮があります。

施設名	千厩高等技術専門校	宮古高等技術専門校	二戸高等技術専門校
定員	23人	18人	40人
寄宿舎料 （月額）	700円	居室1室あたりの定員が 2人の場合 700円 1人の場合 1,400円	1,000円
食費・光熱費等 （月額）	約30,000円 ※食費・光熱費は食事の回数や電気使用料等によって変わる場合があります。		

3 公的融資制度

経済的な理由により就学が困難な方には、次の公的融資制度があります。

○ 技能者育成資金 [窓口：在校する職業能力開発校]

○ 生活福祉資金（福祉資金 福祉費） [窓口：最寄の市町村社会福祉協議会]

○ 母子父子寡婦福祉資金（修業資金、技能習得資金） [窓口：最寄の広域振興局]

○ 教育一般貸付（国の教育ローン） [窓口：日本政策金融公庫のホームページ又は各支店]

4 その他

○ 鉄道やバスによる通学者の通学定期や旅客運賃に学生割引が適用されます。

○ 訓練中や通学途上の事故等には、「災害見舞金制度」の適用が受けられる場合があります。

○ 国民年金保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」の対象となります。（市町村への届出が必要となります。）

○ 経済的理由によって授業料の納付が困難な方は、授業料の全部又は一部を免除する制度の対象となる場合があります。

○ 公共職業安定所長の受講指示により入校する方は、訓練期間中に雇用保険又は訓練受講手当等が支給されます。受講指示については、応募の前に最寄の公共職業安定所に求職申込みのうえご相談ください。

令和4年1月

行事予定表

日曜	行事	時間	場所	会場	県出席者	担当課等	連絡先 (0194)
1 土	平庭高原スキー場安全祈願、ニューイヤーフェスタ	11:00～	久慈市	平庭高原スキー場		久慈市産業建設課	72-2129
2 日	洋野町成人式(令和2年度対象者)	13:30～	洋野町	町民文化会館		洋野町教育委員会生涯学習課	65-5411
3 月	久慈市消防出初式	9:15～	久慈市	アンバーホール		久慈市消防防災課	52-2173
3 月	[定例]市日(3と8のつく日) 要問合せ	8:00頃～	久慈市	市日通り		久慈市観光交流課	52-2123
4 火	令和4年市民新年交賀会	11:00～	久慈市	久慈グランドホテル		久慈市生活環境課	54-8003
4 火	野田村新年興隆会	13:00～	野田村	国民宿舎えぼし荘		野田村商工会	78-2012
5 水	普代村成人式	13:00～	普代村	自然休養村管理センター		普代村教育委員会	35-2711
7 金	路線バス大野線利用者促進事業「まめぶ作り体験」	10:00～	久慈市	中央市民センター		久慈市地域づくり振興課	52-2116
8 土	高校生探求・魅力化プロジェクト等応援事業「かたるBase」	14:00～	久慈市	YOMUNOSU		久慈市地域づくり振興課	52-2116
8 土	[定例]市日(3と8のつく日) 要問合せ	8:00頃～	久慈市	市日通り		久慈市観光交流課	52-2123
9 日	野田村成人式	13:30～	野田村	町民文化会館		野田村教育委員会事務局	65-5411
9 日	洋野町成人式(令和3年度対象者)	13:30～	洋野町	町民文化会館		洋野町教育委員会生涯学習課	78-2936
9 日	久慈市成人式	14:00～	久慈市	アンバーホール		久慈市生涯学習課	52-2156
9 日	野田村消防出初式	9:00～	野田村	野田村立体育館		野田村総務課	78-2111
9 日	洋野町消防団出初式	9:00～	洋野町	洋野町民文化会館ほか		洋野町防災推進課	65-5918
9 日	普代村消防団出初式	14:00～	普代村	久慈消防署普代村分署駐車場ほか		普代村総務課	35-2111
12 水	第4回ひろの子ども議会	10:00～	洋野町	洋野町種市庁舎議場		洋野町教育委員会	65-5920
13 木	[定例]市日(3と8のつく日) 要問合せ	8:00頃～	久慈市	市日通り		久慈市観光交流課	52-2123
14 金	久慈商工会議所新年交歓会	17:30～	久慈市	久慈グランドホテル		久慈商工会議所総務課	52-1000
15 土	小正月行事	10:00～	野田村	役場前村民広場		野田村未来づくり推進課	78-2963
15 土 ～ 21 金	まめぶ展2022	10:00～	久慈市	おらほーる		久慈市産業建設課	72-2129
16 日	久慈青年会議所賀詞交歓会	14:00～	久慈市	久慈グランドホテル		久慈市地域づくり振興課	52-2116
18 火	令和3年度「水生生物調査」実施団体知事感謝状贈呈式	9:15～	久慈市	宇部小学校体育館		保健福祉環境部環境衛生課	66-9681
18 火	[定例]市日(3と8のつく日) 要問い合わせ	8:00頃～	久慈市	市日通り		久慈市観光交流課	52-2123
19 水	木炭生産力向上研修会	10:00～	洋野町	北部産業株式会社製炭場		林務部林業振興課	53-4984
21 金	北いわてアパレル・ものづくりセミナー	14:30～	久慈市	久慈グランドホテル	○	経営企画部産業振興室	66-9671
23 日	[定例]市日(3と8のつく日) 要問い合わせ	8:00頃～	久慈市	市日通り		久慈市観光交流課	52-2123
25 火	自動車整備業界ガイダンス	11:00～	盛岡市	ふれあいランド岩手	○	県立二戸高等技術専門校	0195-23-2227
25 火	洋野町農業振興大会	10:00～	洋野町	洋野町民文化会館		洋野町農林課	77-2113
26 水	魅力ある農村づくり研修会	14:00～	久慈市 二戸市	久慈地区合同庁舎 6階 大会議室 二戸地区合同庁舎 2階 2-A会議室	○	農政部農政調整課	53-4983
28 金	[定例]市日(3と8のつく日) 要問い合わせ	8:00頃～	久慈市	市日通り		久慈市観光交流課	52-2123
31 月	地産地消ふれあい給食会「ほうれんそうの日」	11:50～	久慈市	来内小学校		久慈市農政課	52-2121
31 月	岩手大学地域連携フォーラム	15:00～	久慈市	久慈グランドホテル		久慈市政策推進課	52-2115

令和4年2月上旬

日曜	行事	時間	場所	会場	県出席者	担当課等	連絡先 (0194)
1 火	全国サンマッシュ生産協議会全国大会(岩手大会)	13:30～	久慈市	アンバーホール		久慈市農政課	52-2121
3 木	[定例]市日(3と8のつく日) 要問合せ	8:00頃～	久慈市	市日通り		久慈市観光交流課	52-2123
5 土	一般国道281号下川井工区開通式	11:00～	久慈市	おらほーる、現地		土木部道路整備課	66-9688
5 土	第16回洋野町教育振興大会	13:00～	洋野町	洋野町民文化会館		洋野町教育委員会	65-5411
8 火	地産地消ふれあい給食(しいたけ)	11:30～	久慈市	平山小学校		久慈市林業水産課	52-2122
8 火	[定例]市日(3と8のつく日) 要問合せ	8:00頃～	久慈市	市日通り		久慈市観光交流課	52-2123
11 金	赤ちゃんのためのファーストコンサート	10:00～	久慈市	アンバーホール		久慈市文化課	52-2700
12 土	平庭高原スキー場まつり	11:00～	久慈市	平庭高原スキー場		久慈市産業建設課	72-2129
13 日	[定例]市日(3と8のつく日) 要問合せ	8:00頃～	久慈市	市日通り		久慈市観光交流課	52-2123

局長出席 技監(保健所長)出席 部・室長等出席